SDGs新聞	YKK AP株式会社
「地球にやさしいエネルギー」をつくる！	

SDGsラジオを読んでみよう！

「再生可能エネルギー」という言葉を聞いたことはありますか？
「再生可能エネルギー」とは、太陽の光や風の力、水の流れなどの、自然界に存在するエネルギーのことです。
再生可能エネルギーは、石油や石炭といった他の燃料と違って二酸化炭素をほとんど出さないため地球にやさしく、さらに無くなってしまうこともありません。
窓の会社「YKK AP（ワイケイケイエーピー）」では、窓をつくる工場の中に太陽光パネルや風車を置いて、工場内で使う電力を自分たちでつくる取り組みを進めています。
そうやってつくった電気の量は、2021年からわずか2年でなんと5倍にも増えているんですよ。
再生可能エネルギーを使って、人々の暮らしに欠かせない窓をつくる。
みなさんの街にも太陽光パネルや水車、風車はありませんか？
調べてみましょう。

SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！

太陽の光や風などの自然の力を利用したエネルギーのことを「再生可能エネルギー」といいます。有名なものには、太陽光発電や風力発電などがあります。これらのエネルギーは、石油や石炭といった化石燃料と比べて二酸化炭素がほとんど出ず、地球にやさしいのが大きな特長です。また、石油や石炭のように将来なくなってしまうことがないため、安心して使い続けることができ、「カーボンニュートラル」を実現するための重要なエネルギーとして注目が集まっています。

画像参照：工場に設置した太陽光パネルと風力発電
（YKK APのHPより）

窓をつくっている会社「YKK AP」は、一部の工場に太陽光パネルや風力発電の設備を置いて、「商品をつくるときに使う電力を、自分たちでつくる取り組み」を行っています。こうしてつくられた電気の量は、2021年からのわずか2年で5倍にも増えました。YKK APは今後もこの取り組みをさらに大きく広げ、屋根だけでなく、窓や壁への太陽光パネルの設置にも取り組んでいく予定です。再生可能エネルギーがもっともっと広がって、当たり前の世の中になれば、きっと私たちの未来はもっと幸せなものになるでしょう。

キーワード

再生可能エネルギー

太陽の光や風の力など、自然の中にあるエネルギーのことです。これらは使い続けてもなくならず、環境にやさしいエネルギーです。

化石燃料

石油、石炭、天然ガスなどのエネルギー源です。これらは燃やすと二酸化炭素を出し、地球温暖化の原因になります。

カーボンニュートラル

地球温暖化の原因になる二酸化炭素の排出量を減らし、同時に植物などを用いて吸収する量を増やすことで、空気中の二酸化炭素を限りなくゼロにすることです。

対象ゴール

みなさんにできること！

自分たちが住んでいる街にも太陽光パネルや風車がないか調べてみましょう。

おさらい

- 太陽の光や風などの自然の力を利用したエネルギーを「再生可能エネルギー」という。
- 再生可能エネルギーは、カーボンニュートラルの実現にとても重要。
- YKK APは、商品をつくる工場の電力を再生可能エネルギーでつくる取り組みを行っている。

メモ

SDGsラジオ